

(様式3)

事業所名 グループホームらいふ

作成日: 令和 6年 3月 15日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21 (10)	ケアプラン作成後モニタリングを行い、サービスと支援が適正に実行されているかどうか利用者の新しいニーズを知り、それがケアプランの変更を要するか否かについて取り組む作業が不備であったことを確認しました。	職員及び家族がモニタリング情報を共有する。	・入居者の方々の新しいニーズを早期に把握し、対応の時期を逃さない取り組みをする。(当施設で取り組みやすい様式を考える) ・ケアプランが計画通りに実行され、目標が達成されているかどうか、職員とのミーティングの時間をこまめに開き、確認していく。	3ヶ月
2	29 (13)	連日、能登半島自身の被災地の方々の報道がされていますが、災害がいつ起きても不思議ではない昨今、災害対応について火災時の対応は消防署員の方の立ち合いの元、毎年2回行っていますが、地震、風水害対策についても家族の方々と協力のもと、実施していくことの大事さを痛感しています。	災害時の家族の協力の課題を具体的に取組んでいく。	・災害時の防災マニュアルを職員、家族と学ぶ機会を作り、避難場所の確認及び避難後の対応についても話し合う。 ・家族の方の中で実践できる方の名簿を作り、訓練に参加してもらう。 ・家族の方の中で災害避難に指示が出来る人をお願いする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。